工事成績考查項目別運用表

【建築・建築設備工事】

(検査職員 用)

尾張旭市

考查項目別運用表（建築工事編）

別紙1（検査職員）

考查項目	細 別	評価 対象	評価	a	a'	b	b'	c	d	e	
				出来形が特に優れている	出来形が優れている	出来形が特に良好である	出来形が良好である	出来形が適切である	出来形がやや不適切である	出来形が不適切である	
3. 出来形及び 出来ばえ	I. 出来形	☐	☐	<評価対象項目> 1. 承諾図等が、設計図書を満足していることが確認できる。 2. 施工図等が、設計図書を満足していることが確認できる。 3. 施工計画書等で出来形の管理基準を設定し、計画に基づく管理を実施していることが確認できる。 4. 出来形の管理記録の整備が、良好であることが確認できる。 5. 出来形の管理方法が、工夫されていることが確認できる。 6. 現場における出来形が、設計図書を満足し、適切な施工であることが確認できる。 7. 現場における出来形が良好で、施工の精度が高い。 8. 不可視部分となる出来形が、工事写真、施工記録により、確認できる。 9. 解体又は撤去工事の場合、撤去対象物の範囲等が確認でき、適切な処分をしていることが確認できる。 10. その他 理由： _____ <評価基準> a：該当項目が90%以上 a'：該当項目が80%以上90%未満 b：該当項目が70%以上80%未満 b'：該当項目が60%以上70%未満 c：該当項目が50%以上60%未満 d：該当項目が50%未満 <留意事項> (1) 「評価対象」欄のチェックボックスは、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。チェックボックスの周囲が網掛けされた項目は、原則評価対象とする。 (2) 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。 (3) 評価値（%）＝（評価数／評価対象項目数）×100 評価値は、小数第一位まで（小数第二位を四捨五入）とする。 ※ 出来形の対象は「材料、機材」と「施工の完了したもの」であり、工事目的物の形状、寸法、位置、数量並びに管理記録と設計図書を対比することにより評価を行う。						☐ 出来形の管理に関して、監督職員が文書で指示を行い改善された。	☐ 出来形が不適切であったため、契約約款第33条第4項に係る修補指示を検査職員が行った。
		☐	☐								
		☐	☐								
		☐	☐								
		☐	☐								
		☐	☐								
		☐	☐								
		☐	☐								
		☐	☐								
		☐	☐								
		集計									
		評価値									

考查項目別運用表（建築工事編）

別紙1（検査職員）

考查項目	細 別	評価対象 工種	a	a'	b	b'	c	d	e																														
			品質が特に優れている	品質が優れている	品質が特に良好である	品質が良好である	品質が適切である	品質がやや不適切である	品質が不適切である																														
3. 出来形及び 出来ばえ	II. 品質	評価対象	<table border="1"> <thead> <tr> <th>工種別直接工事費（円）</th> <th>対象のうち工種割合（評価割合）</th> <th>割合×工種別評価値（%）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>					工種別直接工事費（円）	対象のうち工種割合（評価割合）	割合×工種別評価値（%）																												☐ 品質の管理に関して、監督職員が文書で指示を行い改善された。	☐ 品質が不適切であったため、契約約款第33条第4項に係る修補指示を検査職員が行った。
		工種別直接工事費（円）	対象のうち工種割合（評価割合）	割合×工種別評価値（%）																																			
(1) 建築工事	☐																																						
(2) 電気設備工事	☐																																						
(3) 機械設備工事	☐																																						
(4) その他工事	☐																																						
(5) 取壊し工事	☐																																						
評価値	<評価基準> a：該当項目が90%以上 a'：該当項目が80%以上90%未満 b：該当項目が70%以上80%未満 b'：該当項目が60%以上70%未満 c：該当項目が50%以上60%未満 d：該当項目が50%未満 <留意事項> (1) 始めに「評価対象工種」欄チェックボックスへ、評価すべき主要工種（最大3つまで）についてチェックし、工種毎に工事費内訳書での直接工事費（税抜き）を入力する。続いて、次頁以降の評価すべき工種について評価する。 (2) 「品質」の評価においては、対象工種毎の加重平均により算出とし、次の式によるものとする。 評価値（%）＝{工種別評価値（対象工種毎の（評価数／評価対象項目数）×100）×対象割合} の合計値 評価値は、小数第一位まで（小数第二位を四捨五入）とする。 ※1 評価すべき主要工種を選定の上、該当工事種別の対象評価項目に沿って評定する。その後、各々の評価結果を工事費内訳による加重平均方式により集計する。 ※2 目的物の品質の水準を評価すること。 ※3 品質の対象は「材料、機材」と「施工が完了したもの（システムを含む）」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより、技術的な評価を行う。																																						

考查項目別運用表（建築工事編）

別紙1（検査職員）

考查項目	細 別	評価対象	評価	評価対象項目（工種別）																										
	II. 品質 (5) 取壊し工事	<table border="1"> <tr> <td>対象</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> <tr> <td colspan="2">集計</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> </td> </tr> <tr> <td colspan="2">工種別評価値</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> </td> </tr> </table>	対象	評価	☐	集計				工種別評価値					<評価対象項目> 1. 分別、再資源化に努めている。 2. 施工計画書に定められた計画により管理されている。 3. 廃材処理が、適切である。 4. 請負者の管理記録が整備されている。 5. 不可視部分の写真記録が適切である。 6. 工事完了時の整地形状が適切である。 7. 中間検査や出来形検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。 8. その他 理由： _____ <留意事項> (1) 「評価対象」欄のチェックボックスは、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。チェックボックスの周囲が網掛けされた項目は、原則評価対象とする。 (2) 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。 ※1 評価すべき主要工種を選定の上、該当工事種別の対象評価項目に沿って評定する。その後、各々の評価結果を工事費内訳による加重平均方式により集計する。 ※2 目的物の品質の水準を評価すること。 ※3 品質の対象は「材料、機材」と「施工が完了したもの（システムを含む）」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより、技術的な評価を行う。
対象	評価																													
☐	☐																													
☐	☐																													
☐	☐																													
☐	☐																													
☐	☐																													
☐	☐																													
☐	☐																													
☐	☐																													
集計																														
工種別評価値																														

考查項目別運用表（建築工事編）

別紙1（検査職員）

考查項目	細 別	評価対象 工種	a	b	c	d																					
			全体的な完成度が優れている	全体的な完成度が良好である	全体的な完成度が適切である	全体的な完成度が劣っている																					
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅲ. 出来ばえ	評価対象	<table border="1"> <thead> <tr> <th>工種別直接工事費（円）</th> <th>対象のうち工種割合（評価割合）</th> <th>割合×工種別評価値（％）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>			工種別直接工事費（円）	対象のうち工種割合（評価割合）	割合×工種別評価値（％）																			☐ 出来ばえが劣っている。
		工種別直接工事費（円）	対象のうち工種割合（評価割合）	割合×工種別評価値（％）																							
(1) 建築工事 ☐ (2) 電気設備工事 ☐ (3) 機械設備工事 ☐ (4) その他工事 ☐ (5) 取壊し工事 ☐	<評価基準> a：該当項目が90%以上 b：該当項目が80%以上90%未満 c：該当項目が80%未満 <留意事項> (1) 最初に「評価対象工種」欄チェックボックスへ、評価すべき主要工種（最大3つまで）についてチェックし、工種毎に工事費内訳書での直接工事費（税抜き）を入力する。続いて、次頁以降の評価すべき工種について評価する。 (2) 「出来ばえ」の評価においては、対象工種毎の加重平均により算出し、次の式によるものとする。 評価値（％）＝{工種別評価値（対象工種毎の（評価数／評価対象項目数）×100）×対象割合}の合計値 評価値は、小数第一位まで（小数第二位を四捨五入）とする。 (3) 各々の評価対象工種において、評価対象項目数が2項目以下のものは評価の有無に関わらずc評価となるため、当該工種の評価値は70%として加重平均に加算される。 ※1 評価すべき主要工種を選定の上、該当工事種別の対象評価項目に沿って評定する。その後、各々の評価結果を工事費内訳による加重平均方式により集計する。 ※2 全体的な仕上がり状態、機能の評価する。 ※3 出来ばえの評価は、全体的な仕上がり状態、形状、配置及び関連工事との調和、目的物としての機能などについて、観察、計測等により技術的な評価を行う。																										
		評価値																									

考查項目別運用表（建築工事編）

別紙1（検査職員）

考查項目	細 別	評価対象	評価	評価対象項目（工種別）
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅲ. 出来ばえ (1) 建築工事	対象	評価	<評価対象項目> 1. きめ細かな施工がなされ、取り合いの納まりや端部まで仕上がりが良い。 2. 関連工事（工種）又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。 3. 使い勝手や使用者の安全に対する配慮に優れている。 4. 仕上がりの状態が良好で、作動状態も良好である。 5. 色調が均一であり、色むら等がなく、全体的な美観が良好である。 6. 材料・製品の割付や通り等が良く、全体的な出来ばえが良好である。 7. 保全に配慮した施工がなされている。 8. その他 理由： _____
		☒	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		集計		
		工種別評価値		
	Ⅲ. 出来ばえ (2) 電気設備工事	対象	評価	<評価対象項目> 1. きめ細かな施工がなされている。 2. 関連工事（工種）又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。 3. 機器又はシステムとして、運転状態が正常であり、性能が優れている。 4. 環境負荷低減への対策が優れている。 5. 運転操作及び保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 6. その他 理由： _____
		☒	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		集計		
		工種別評価値		
	Ⅲ. 出来ばえ (3) 機械設備工事	対象	評価	<評価対象項目> 1. きめ細かな施工がなされている。 2. 関連工事（工種）又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。 3. 機器又はシステムとして、運転状態が正常であり、性能が優れている。 4. 環境負荷低減への対策が優れている。 5. 運転操作及び保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 6. その他 理由： _____
		☒	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		集計		
		工種別評価値		

考查項目別運用表（建築工事編）

別紙1（検査職員）

考查項目	細 別	評価対象	評価	評価対象項目（工種別）
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅲ. 出来ばえ			
	(3) 機械設備工事	工種別評価値		
	Ⅲ. 出来ばえ			
	(4) その他工事	対象	評価	<評価対象項目>
		☒	☐	1. きめ細かな施工がなされ、取り合いの納まりや端部まで仕上がりが良い。
		☐	☐	2. 既存部分や関連設備との調整がなされ、全体に調和が良い仕上げである。
		☐	☐	3. 使い勝手や使用者の安全に対する配慮が適切である。
		☐	☐	4. 仕上がりの状態が良好である。
		☐	☐	5. その他
		集計		:理由:
				_____
		工種別評価値		
	Ⅲ. 出来ばえ			
	(5) 取壊し工事	対象	評価	<評価対象項目>
		☒	☐	1. きめ細やかな施工がなされている。
		☐	☐	2. 既存部分や関連設備との調整がなされている。
		☐	☐	3. 安全及び環境に対する配慮が適切である。
		☐	☐	4. 仕上がりの状態が良好である。
		☐	☐	5. その他
		集計		:理由:
				_____
		工種別評価値		
				<留意事項>
				(1) 「評価対象」欄のチェックボックスは、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。チェックボックスの周囲が網掛けされた項目は、原則評価対象とする。
				(2) 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
				(3) 評価対象項目が2項目以下の場合は、全て該当してもc評価とする。
				※1 評価すべき主要工種を選定の上、該当工事種別の対象評価項目に沿って評定する。その後、各々の評価結果を工事費内訳による加重平均方式により集計する。
				※2 全体的な仕上げ状態、機能を評価する。
				※3 出来ばえの評価は、全体的な仕上げ状態、形状、配置及び関連工事との調和、目的物としての機能などについて、観察、計測等により技術的な評価を行う。